

2013
モーター
スポーツ
ファン
感謝デー





イベントガイド「エンジョイガイド」

【イベント概要】

- イベント名称：2013 モータースポーツ ファン感謝デー
- 日 程：2013年3月2日(土)・3日(日)
- 主 催：株式会社モビリティランド 鈴鹿サーキット
- 協 力：鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会
NPO法人 鈴鹿モータースポーツ友の会
- 会 場：鈴鹿サーキット国際レーシングコースおよびピット・パドックエリア・園内各所
- 天 候・動 員：3月2日(土)晴 4.6℃ 北西の風8.0m/s 20,000人
3日(日)晴 7.9℃ 北西の風5.4m/s 23,000人
※気象状況は各日とも津地方気象台15:00発表
- 取 材 者：81媒体 150名

2013年の本格的なモータースポーツシーズン開幕を告げるビッグイベント「2013モータースポーツファン感謝デー」が鈴鹿サーキットを舞台に開催されました。

新体制のお披露目はもちろん、鈴鹿サーキット50年の歴史を華やかに彩ったゲストやヒストリックマシンも多数登場しての豪華なプログラムが満載の2日間となりました。

昨年開場50周年を迎えた鈴鹿サーキットは、新たな時代に向かって走り始めています。



鈴鹿サーキット公式ウェブサイト <http://www.suzukacircuit.jp/>

SUZUKA CIRCUIT

7992, INOU-CHOU, SUZUKA-SHI, MIE 510-0295, JAPAN TEL: 059-378-1111 FAX: 059-378-8101

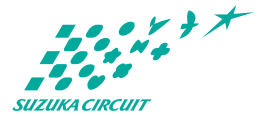
TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA, MOTEGI-MACHI, HAGA-GUN, TOCHIGI 321-3597, JAPAN TEL: 0285-64-0001 FAX: 0285-64-0009

TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20, YAESU, CHUO-KU, TOKYO 104-0028, JAPAN TEL: 03-3278-0777 FAX: 03-3278-0733

レーシングコースイベント 1



国際レーシングコースを舞台に、豪華ゲストや貴重なマシンが多数登場してスペシャルイベントが多彩に展開され、シーズン本格開幕への期待が高まりました。

【第4回 永遠のライバル『星野一義vs中嶋悟』】



星野一義さん(ウィリアムズFW11)と中嶋悟さん(ティレル019)の夢の対決。迎えること4回目となる今回は、星野さんのスタート手順ミスをついた中嶋さんが“勝利”しました(3日)。

【ワールドGP『エディ・ローソン伝説』】



HondaとYAMAHAで実に4回の世界チャンピオンを獲得したエディ・ローソンさんが来場。NSR500とYZR500を乗り換えながらの豪華なデモランを披露していただきました。

【鈴鹿F1日本GP記念『1987年F1の衝撃』】



佐藤琢磨選手が初めてF1日本GPを観戦したのが、鈴鹿初開催の1987年。その思い出を星野一義さん、中嶋悟さんと振り返りながら3人がF1マシンをドライブしました。

【鈴鹿8耐『1990年の記憶』】



史上最多の観客を集めた1990年の鈴鹿8耐。ダイジェスト映像とともに、エディ・ローソン、辻本聡、宮崎祥司、塚本昭一の各氏が激戦の舞台裏を語るとともに、ウィニングマシンYAMAHA YZF750をローソンさんがデモランしました。

SUZUKA CIRCUIT

7992, INOU-CHOU, SUZUKA-SHI, MIE 510-0295, JAPAN TEL: 059-378-1111 FAX: 059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA, MOTEGI-MACHI, HAGA-GUN, TOCHIGI 321-3597, JAPAN TEL: 0285-64-0001 FAX: 0285-64-0009

TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20, YAESU, CHUO-KU, TOKYO 104-0028, JAPAN TEL: 03-3278-0777 FAX: 03-3278-0733

【時空を超えたF1日本グランプリ】



F1日本GPを走ったマシンを中心に、時空を超えてさまざまな時代のマシンがデモランを実施しました。
・ティレル019(中嶋悟) ・ロータス101(中嶋大祐) ・フェラーリF2003(中野信治)
・ラルースC90(鈴木亜久里) ・ロータス78(吉本大樹) ・ロータス97T ・ロータス88 ・ロータス72E

【星野一義が語る鈴鹿1000km『グループCカーの歴史』】



1980年代後半から1990年代前半にかけて世界の耐久レースの中心となったグループC。星野一義さんが当時の思い出を語り、往年の名マシン達が鈴鹿を駆け抜けました。

【8耐&SUPER GTワイライトデモ】



長い歴史を誇る鈴鹿の夏の風物詩、鈴鹿8耐と鈴鹿1000km。その最新マシン達が夕闇に包まれた鈴鹿をライトオンで快走。チェッカー後には大輪の花火が打ち上げられました(2日)。

【スーパーフォーミュラRd.0】



新生「スーパーフォーミュラ」がRd.0と銘打ち、エキシビションレースを実施。ポテンシャルアップした文字通りのスーパーな走りがファンを魅了しました(3日)。

SUZUKA CIRCUIT

7992, INOU-CHOU, SUZUKA-SHI, MIE 510-0295, JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA, MOTEGI-MACHI, HAGA-GUN, TOCHIGI 321-3597, JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20, YAESU, CHUO-KU, TOKYO 104-0028, JAPAN TEL:03-3278-0777 FAX:03-3278-0733

【吉本大樹が語る格闘技レース『WTCC』】



2年連続でWTCC(世界ツーリングカー選手権)日本ラウンドに参戦した吉本大樹選手がその魅力を語りました。

【D1パフォーマンス】



「いかにカッコよく走るか」を競うD1グランプリ。華麗かつ迫力のドリフト走行を谷口信輝選手らが披露しました。

【ヒストリックフォーミュラ デモレース】



1960年代を中心とした“葉巻型フォーミュラカー”約20台が集結。往年の走りを披露しました。

【ロードレースデモレース】



クラスの垣根を越えて約40台のマシンが迫力のデモレースを展開しました(3日)。

【クルマとバイクのスクール パレードラン】



鈴鹿サーキット交通教育センターで開催されているドライビング&ライディングレッスンの参加者がパレードを行いました(3日)。

【グリッドウォーク】



お昼のインターバルにはストレートを開放。グリッドレーシングマシン上のレーシングマシン(2日…グループCカー 3日…スーパーフォーミュラ)を身近に感じていただきました。

【レーシングマシン同乗走行】



NPO法人 鈴鹿モータースポーツ友の会主催のレーシングマシン同乗走行。子どもたちに“本物の世界”を体験してもらいました(3日)。

【ファイナルパレード】



イベントに参加した2輪・4輪マシンがコース上をパレード、豪華な絵巻を繰り広げてファイナルを飾りました(3日)。

SUZUKA CIRCUIT

7992, INOU-CHOU, SUZUKA-SHI, MIE 510-0295, JAPAN TEL: 059-378-1111 FAX: 059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA, MOTEGI-MACHI, HAGA-GUN, TOCHIGI 321-3597, JAPAN TEL: 0285-64-0001 FAX: 0285-64-0009

TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20, YAESU, CHUO-KU, TOKYO 104-0028, JAPAN TEL: 03-3278-0777 FAX: 03-3278-0733

ピットビル2階の「ホスピタリティラウンジ」では期間を通じて2輪・4輪の選手や著名人がトークショーを実施。レース時とはちがったリラックスな雰囲気の中で興味深いお話を聞かせていただきました。



佐藤琢磨選手



エディ・ローソンさん 辻本聡さん



中嶋悟さん 星野一義さん



中野信治選手 鈴木亜久里さん



中嶋大祐、伊沢拓也、山本尚貴、塚越広大の各選手



藤原克昭、柳川明、酒井大作、加賀山就臣、高橋巧、秋吉耕佑の各選手

PICK UP 1

ホスピタリティラウンジでレースチケットの先行販売を実施。ご購入の方限定で各選手らのプレミアムサイン会への参加権をプレゼントいたしました。



鈴鹿サーキットでは1987年よりモータースポーツの発展、振興、ファン拡大につながる顕著な活躍、活動、功績を残した個人・団体を対象に「モータースポーツ顕彰」を、また大きな活躍が期待される個人を対象に「ライジング・アワード」を設定・授与し、その功績を広く知っていただくとともに感謝の意を表してまいりました。

2012年度についても、東京運動記者クラブモータースポーツ文芸会、JMS・日本モータースポーツ記者会、JRPA・日本レース写真家協会、RRPA・日本ロードレースプレス協会の皆さまのご協力のもとに個人・団体を選出し、顕彰対象者を決定いたしました。

その授与式がポディウム(表彰台)で3月3日(日)に行われました。



受賞者の皆さん

左から MOLA (2名)、トリックスターレーシング (2名)、フィオレンティーナ470クラブ、石川京侍、山田誓己 (敬称略)

モータースポーツ顕彰 (2012年に顕著な活躍をされた個人・団体など)

小林可夢偉選手 (授与式は欠席)

2009年終盤にF1デビューをはたし、翌年からのフル参戦では常に上位争いにかかわる素晴らしい戦いを展開、2012年F1日本GPにおいて、鈴木亜久里さん(1990年日本GP)、佐藤琢磨選手(2004年アメリカGP)以来日本人ドライバー3人目となる表彰台を獲得し、開場50周年を迎えた鈴鹿サーキットのメモリアルイヤーに新たな歴史を刻む大活躍を見せた。

モータースポーツ特別顕彰 (2012年に特別な活躍をされた個人・団体など)

MOLA(NISSAN)

3年ぶりの1000kmレース復活となった2012年「第41回インターナショナル ポッカ1000km」でみごとポール・トゥ・ウインを達成。さらにSUPER GT初となるドライバー&チームのダブルタイトル2連覇達成。

トリックスターレーシング(Kawasaki)

伊賀上野観光協会、甲賀市観光協会、そしてアニメとのコラボでさまざまな話題を提供。観戦ツアーなど地域との連携を深め、モータースポーツの発展に貢献。

モータースポーツ功労顕彰 (永年に渡りモータースポーツの発展に貢献された個人・団体など)

フィオレンティーナ470クラブ

鈴鹿F1日本GPの風物詩ともいえる決勝レース前の「ドライバーズパレード」に2002年から協力。鈴鹿サーキットの日本GPを華やかに彩る

2013年ライジングアワード・4輪

(2012年の活躍と2013年に更なる活躍が期待される4輪選手)

石川京侍選手

2012年SRS-F(鈴鹿サーキットレーシングスクール フォーミュラ)を主席で卒業。同年のスーパーFJ鈴鹿シリーズチャンピオンも獲得。さらにスポット参戦したFCJ(フォーミュラチャレンジ・ジャパン)でも大活躍。

2013年ライジングアワード・2輪

(2012年の活躍と2013年に更なる活躍が期待される2輪選手)

山田誓己選手

2012年全日本ロードレース選手権J-GP3クラスランキング3位を獲得するとともに、10代選手を対象としたJ-GP3ユースカップチャンピオンに輝く。



ポディウム(表彰台)で鈴鹿サーキットクイーンの交代式が行われました(3日)。



イベント出演者、関係者、ファンが集まったのサンクスパーティーが鈴鹿サーキットS-PLAZAで行われました(2日)。



鈴鹿市を含めた5市1町で構成される「鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会」ブースではゲームが子どもたちの人気を呼んでいました。



NPO法人「鈴鹿モータースポーツの会」が「子どもモータースポーツ教室」など体験イベントを展開しました。

SPECIAL REPORT

3月2日(土)、記者発表会が行われ、2014年から2018年の鈴鹿サーキットにおけるF1日本グランプリの開催契約について、FOWC(フォーミュラ・ワン・ワールド・チャンピオンシップ・リミテッド)と株式会社モビリティランドが基本合意したことが発表されました。

また台湾・高雄市に建設される複合商業施設での鈴鹿サーキットのライセンス使用、およびアミューズメント施設へのコンサルティング業務についての基本合意が関係各方面となされました(写真左…関係者一同の握手)。さらに鈴鹿サーキット初となるアジアロードレースが8月31日(土)・9月1日(日)の日程で開催されることとなりました(写真右…参加選手の決意表明)。



SUZUKA CIRCUIT

7992, INOU-CHOU, SUZUKA-SHI, MIE 510-0295, JAPAN TEL: 059-378-1111 FAX: 059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA, MOTEGI-MACHI, HAGA-GUN, TOCHIGI 321-3597, JAPAN TEL: 0285-64-0001 FAX: 0285-64-0009

TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20, YAESU, CHUO-KU, TOKYO 104-0028, JAPAN TEL: 03-3278-0777 FAX: 03-3278-0733

【PRブースご出展各社 1】



株式会社エイチ・ピー・アイ



株式会社M-TEC



エンケイ株式会社



株式会社エンドレスアドバンス



株式会社OS技研



小倉クラッチ株式会社



京商株式会社



株式会社シーアールエス



C-WEST株式会社



鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会



NPO法人 鈴鹿モータースポーツ友の会



株式会社スマート



スマホVision



株式会社ディクセル



株式会社テストアンドサービス



日産自動車株式会社

【PRブースご出展各社 2】



日産プリンス三重販売株式会社



日本サン石油株式会社



株式会社日本レースプロモーション



有限会社ニューテックジャパン



株式会社橋本コーポレーション



ピアッツィオグループジャパン株式会社



スバル東海グループ



株式会社プリテストン



プリッド株式会社



本田技研工業株式会社



ヤマハ発動機株式会社



横浜ゴム株式会社



株式会社ラック



株式会社レイズ



株式会社ローソン HMVエンタテインメント



株式会社ワーク

【販売ブースご出展各社】

株式会社イー・スマイル	株式会社チームロッソ
株式会社エムズクラブ	株式会社P-4
株式会社KARZ	ブラネックスコミュニケーションズ株式会社
株式会社京商	株式会社プロ・フィット スポーツ

SUZUKA CIRCUIT

7992, INOU-CHOU, SUZUKA-SHI, MIE 510-0295, JAPAN TEL: 059-378-1111 FAX: 059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA, MOTEGI-MACHI, HAGA-GUN, TOCHIGI 321-3597, JAPAN TEL: 0285-64-0001 FAX: 0285-64-0009

TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20, YAESU, CHUO-KU, TOKYO 104-0028, JAPAN TEL: 03-3278-0777 FAX: 03-3278-0733

【サーキットビジョンご協賛各社】



株式会社アイデア



株式会社エフ・シー・シー



株式会社M-TEC



株式会社オートボックスセブン



コカ・コーラ セントラル ジャパン株式会社



シーシーアイ株式会社



株式会社デンソー



株式会社トーエネック



日本サン石油株式会社



日本特殊陶業株式会社



ビー・エム・ダブリュー株式会社



株式会社ブリヂストン



本田技研工業株式会社



株式会社ホンダモーターサイクルジャパン



横浜ゴム株式会社

【イベントガイド広告ご協賛】



A4 カラー 6p

株式会社ジェイ・スポーツ